

(市長記者会見資料)

平成 16 年 7 月 21 日
京 都 市
(保健福祉局子育て支援部児童家庭課
251-2380)

「出産お祝いレター」及び「子育て応援パンフレット」お届け事業について
～ 子育て支援都市・京都から 子どもたちの健やかな成長を願って ～

少子化が進む中、21世紀の主人公である子どもを安心して産み育て、健やかな成長を社会全体で支えることは大変重要な課題です。

本市では、乳幼児医療助成制度の拡充や不妊治療に対する助成制度の創設をはじめ、「京(みやこ)・子どもいきいきプラン」に基づく「京都子どもネットワーク連絡会議」の設置、保育所や児童館の拡充、更には、子育てを支える「家庭づくり」、「職場づくり」、「地域・社会づくり」を支援するためのきめ細やかな子育て支援事業「京(みやこ)・子どもいきいきプラン・プラスワン」の実施など、次代の京都を担う子どもたちの健やかな育成を支援していくための幅広い子育て支援施策を展開しており、本年6月には、国の「子育て支援総合推進モデル市町村」に指定されました。

このたび、尊い生命の誕生を心から祝福し、併せて、京都市が推進する多様な子育て支援に関するサービスを最大限にご利用いただくため、出生児の全てのご家庭に「出産お祝いレター」と「子育て応援パンフレット」・「子育て応援マップ」を下記のとおりお届けします。

記

1 送付物(別添資料参照)

(1)「出産お祝いレター」(A4判)

- ・榎本頼兼京都市長からのメッセージを掲載

(2)「子育て応援パンフレット」(A4判・63ページ)

- ・614の施設に加え、151の事業・制度を掲載
- ・＜第1章・第2章＞
妊娠・出産から義務教育期までの子どもの成長過程に沿った施策等を紹介。
- ・＜第3章以降＞
目的別に子育て情報を掲載

(3)「子育て応援マップ」(B2判・4つ折)

- ・＜表面＞各区・支所別の地図に子育て支援機関の位置を表示
- ・＜裏面＞表面の子育て支援機関の名称や住所、電話番号を掲載

- 2 送付開始
平成 16 年 8 月中旬から
- 3 送付先
出生児の全てのご家庭（保護者宛て）
年間 約 12,000 人
- 4 パンフレット及びマップの製作部数
各 30,000 部
- 5 その他
「子育て応援パンフレット」、「子育て応援マップ」については、こどもみらい館をはじめ、区役所・支所福祉部（福祉事務所）・保健部（保健所）、児童相談所等で配布するほか、保健福祉局子育て支援部児童家庭課ホームページでも閲覧できます。

子育て支援総合推進モデル市町村の指定について

○概要

全国の子育て支援事業の推進のため、国が子育て支援策に積極的に取り組んでいる地方自治体を指定し、子育て支援に係る「モデル事業を推進するための計画策定」、「普及啓発セミナーの開催」、「取組事例集の作成」等に必要な補助を行う制度。

本市においては、この制度を活用し、次世代の子育て支援行動計画である「新京（みやこ）・子どもいきいきプラン」の策定を進めている。

(参考)

平成16年度の主な本市の「子育て支援施策」(新規・充実)について

<京(みやこ)・子どもいきいきプラン プラスワン>

1 新規事業

「出産お祝いレターお届け事業」(平成16年8月開始)

本市の子育て支援施策を最大限にご利用いただくため、出生児のご家庭に「子育て応援パンフレット」と「子育て応援マップ」に加え、尊い生命の誕生に対する心からの祝福と応援メッセージを記した「出産お祝いレター」をお届けする。

「乳幼児歯科相談」(平成16年7月から順次開始)

全保健所・支所で就学前の乳幼児と保護者の方を対象に、気軽に口腔に関する悩みを相談できる事業を行う。

「ふれあい食体験教室」(平成16年9月開始予定)

全保健所・支所で就学前幼児と保護者の方を対象に食材学習や調理体験等を行う。

「すくすく育児・サポート教室」(平成16年9月開始予定)

医師、保健師等が地域に出向き、病気の予防や栄養に関する講話や交流会等を行う。

2 充実事業

「絵本ふれあい事業」

現在、市内5箇所の保健所・支所で実施している赤ちゃんと保護者への絵本の読み聞かせを、平成16年10月から全保健所・支所で実施する。

「わくわくクッキング教室」

子育て中の親と子(小学校3・4年生)を対象とした「わくわくファミリークッキング」を年4回開催するとともに、妊婦とその夫を対象とした「わくわくマタニティクッキング」を年9回から年12回に拡充する。

<新京(みやこ)・子どもいきいきプラン>(平成16年度内策定予定)

次世代の子育て支援行動計画である本プランの策定作業は、去る6月28日に公表した「子育て支援に関する市民ニーズ調査」の結果を踏まえ、現在、子どもと家庭に関わる行政機関、民間団体等で構成している「京都子どもネットワーク連絡会議」で行っている。今後、シンポジウムや計画案のパブリックコメントを実施することで、市民の幅広い意見を反映し、本年12月を目途に新計画を策定する予定である。